

平成24年度

上田市地域づくりコーディネーター育成事業
成果発表会

2013年3月9日

長野大学 企業情報学部

准教授 河野良治

雑感

時間が足らなかったという感想について

目的:コーディネータの育成

計画の策定は二次的(課題の認識)

- 拍手が多かった みんなが受容する雰囲気
- 前向きな(創造的)態度が素敵

地域に役立つ人材をどう育てるか

面白い点

- 地域の多様性への注目
- 人材は既に居るという発想の転換
- 市役所の方に言い難いことを、、、
でも大事な議論の出発点なのではないか

課題

- これから皆さんが何をするのかの提案
企業の支援、行政の支援に求めるだけでは変わらない部分もある

全ての人に居場所と出番のある 地域づくり

面白い点

- 豊かな資料
- ファシリテーターとしてのクロちゃん
- 住みやすいを競い合うという視点

課題

- これから皆さんが何をするのかの提案

民泊による地域活性化

評価すべき・面白い点

山寺さんが「やる」と言っている

サポーターによる地域の限界突破(6次産業化)

手塚の語り部、民話、リーダーetc.多様な力の活用

グリーンツーリズムへの注目

課題

豊かすぎる内容

次の機会があれば

2013年

自治会に焦点を当てた、地域コーディネータ
連合自治会との共同は可能なのか？

地方自治が民主主義の「小学校」なら、
自治会は民主主義の「幼稚園」
ここが学級崩壊なら、
明るい社会は来るのか？

そろそろ、環境ツーリズム all stars ?

青春とは人生のある期間を言うのではなく、心の様相ようそうを言うのだ。
優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦きようだを却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。
年を重ねただけで人は老いない。理想を失うときに初めて老いが来る。歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失う時に精神はしぼむ。
苦悶や狐疑こぎや、不安、恐怖、失望、こう言うものこそ恰あたかも長年月の如く人を老いさせ、精気ある魂をも芥あくたに帰せしめてしまう。
年は七十であろうと十六であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。
曰く、驚異への愛慕心、空にきらめく星辰、その輝きにも似たる事物や思想に対する欽仰、事に処する剛毅な挑戦、小児の如く求めて止まぬ探求心、人生への歡喜と興味。人は信念と共に若く 疑惑と共に老ゆる、
人は自信と共に若く 恐怖と共に老ゆる、
希望ある限り若く 失望と共に老い朽ちる。

大地より、神より、人より、美と喜悅、勇氣と壮大、そして偉力の靈感を受ける限り、人の若さは失われない。これらの靈感が絶え、悲嘆の白雪が人の心の奥までも蔽いつくし、皮肉の厚氷あつごおりがこれを堅くとぎすに至れば、この時にこそ人は全く老いて、神の憐れみを乞うる他はなくなる。